

# 大学入学共通テスト試行調査 2018.11 英語（筆記）

## 全体概要

制限時間	80分	配点	100点+記述式の評価点	大問数	6大問
出題分野	英語				
難易度	※対現行センター試験 やや難				
解答形式	マーク式				
主な特徴	※対現行センター試験 全て読解問題				

## 全体出題傾向

### ◆様々な素材の英文から出題

現行のセンター試験で出題されている発音やアクセント、4択の文法・語彙問題や会話問題はなくなり、全て読解問題となっていて、問題文も含めほぼ全て英語である。そこで扱われている素材はブログや広告、記事などの日常生活に即したのものから資料、グラフまで多岐に渡っている。また、問題を答える際に「2つ以上の選択肢を選んでも良い」といった指定がなされた設問文も少なくなかった。

## 対策

### ◆毎日長文を読み「読解体力」をつける

80分で大量の英文を読まなければならないので、「読解体力」をつける必要がある。そのためには短文だけでなく、300words以上のある程度の長さがある英文を日ごろから読むことが大事である。読む際にもたぎみやみくもに読むのではなく、設問文でどのようなことが問われているかを意識して、1文1文のつながりやまとまりに注意しながら読む練習をしていかなければならない。

## 大問別コメント

### 第1問

伝言メモと広告を読み、それぞれの問題に答える。使われている語句や表現は易しめなので、現行のセンター試験で出されている広告・ポスターに関する問題の対策を怠らなければ十分対応は可能である。

### 第2問

料理のレシピとその評価、授業で使う記事とそれへのコメントがそれぞれ英文の素材であり、視点が複数になっているのが特徴である。さらに、設問では選択肢が「事実」なのか「意見」なのかを区別しなければならない問題が初めて出題された。

### 第3問

ブログと雑誌の記事を読む問題である。題材は学校生活に関わりがあるものなので、比較的読みやすくなっている。ただし、仮定法や副詞に関する正確な知識がないと正解を選べない設問が出されており、現行のセンター試験同様に文法・語彙の力は必要になってくる。

### 第4問

グラフに関する問題であるが、英文も長く、記事も複数であり、設問文の指示（複数の選択肢を選んでも良い）が複雑なので現行のグラフ問題より難しくなっている。グラフが示している事実に対してのどのような意見を誰が言っているのか、正確に整理する必要がある。

### 第5問

プレゼンで発表するある人物の物語文を読んでいき、その内容をワークシートにまとめていく。第4問と同じく複数の英文を照らし合わせながら読んでいかなければならない上に、時系列に選択肢を並べたり、複数の選択肢を選ぶことが可能な内容一致問題が出るなど、今まで以上に全体を俯瞰して把握する能力が求められる。

### 第6問

社会問題に関する英文が2つ出され、それぞれの問題に答える。素材は現行のセンター試験の第6問の論説文に似ているが、設問の問われ方に違いが見られる。説明されている状況を4つのグラフから選んだり、要約問題がでたりと、英文の内容を正確に言い換えまとめることが必要になってくる。